

# 児童1万人による生き物調査の結果がまとまりました

## ～こども「いきいき」生き物調査 2024 結果概要～

環境科学研究所では横浜市立小学校の児童と協力し、こども「いきいき」生き物調査を実施しています。2024（令和6）年は164校10,188人から回答をいただき、結果を報告書にまとめました。本調査は2013（平成25）年から実施しており、今回は12年目11回目<sup>\*1</sup>の調査でした。

### 1 調査の目的

- ・児童に地域の自然や生き物への関心を高めてもらうこと
- ・生物多様性保全に資する基礎データを取得すること

### 2 調査方法

過去1年間に、調査対象の生き物を「家や学校の近く」で確認した場合は○をつけてもらいました。

### 3 調査対象の生き物

今回は次の9種類の生き物を選定しました。

- ・ツバメの巣
- ・白サギのなかま
- ・ハグロトンボ
- ・ノコギリクワガタ
- ・白いユリ
- ・アメリカザリガニ
- ・ウグイス（の鳴き声）
- ・カタツムリ
- ・ナナホシテントウ



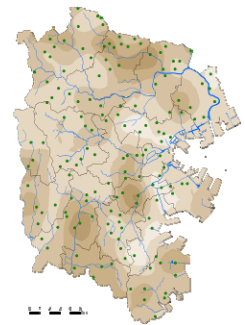
調査票（表面）

### 4 調査結果

生き物を確認した人の割合（以下、確認率）を学校ごとに集計し、市内全域における確認率の高低を色の濃淡で図示しました。

今回調査対象だった生き物のうち「白サギのなかま」は、2015年の市全体の確認率が23%でしたが、2019年は26%、2024年は32%と上昇しています。河川の水質改善や市街地での水辺環境整備により、白サギが増えた可能性があります。

詳細は報告書<sup>\*2</sup>及び調査結果概要版（次頁の資料）をご覧ください。



白サギのなかまの  
調査結果

\*1 2020年はコロナ禍のため実施しませんでした

\*2 こども「いきいき」生き物調査 ページ内に掲載

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/kankyohozen/kansoku/science/naiyou/tayosei/ikiiki.html>



YOKOHAMA  
GO GREEN



お問合せ先

みどり環境局環境科学研究所長 高須 豊 Tel 045-453-2550



GREEN × EXPO 2027  
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



2024年(令和6年)

12月5日 木曜日

発行:横浜市環境科学研究所  
〒221-0024 横浜市南区区郷1番地 港南ABCビルディング1号館 5階  
TEL:045-453-2550 FAX:045-453-2560

# こどもいきいき生き物新聞



1面 白いサギが増加中! , いきいき調査Q&A , 実は40年前にも...

2面 2024年の調査結果 , いきいきクイズ

## 教えて! / いきいき調査? Q&A!

Q こども「いきいき」生き物調査ってなに?

A 横浜市立小学校の5年生を中心に、1年間に家や学校の近くで見つけた生き物を報告してもらう調査です。

Q どんな生き物を調査しているの?

A 見分けるのがかんたんで、分布にかたよりのあるものや、増えたり減ったりしそうな生き物から、毎年選んでいます。

Q 結果はどうやってまとめたの?

A 生き物ごと・学校ごとに見つけた割合(確認率)を求め、地図上に色の濃さで確認率の高低が分かるように表しました。※1

Q なんで調査するの?

A 横浜市内の生き物の生息情報を広く集めるためと、子どもたちに地域の自然や生き物に関心を高めてもらうためです。

※1 作図には1校あたりの回答数が10人以上の150校のデータを使用し、GISソフトを用いたKriging法により、空間補完を行いました。

環境科学研究所では、横浜市立小学校の小学生を対象に、家や学校の近くで見つけた生き物を報告してもらうこども「いきいき」生き物調査を実施しています。2013年からはじめ、2024年で12年目、11回目の調査になります。



# 増加中! 白いサギが

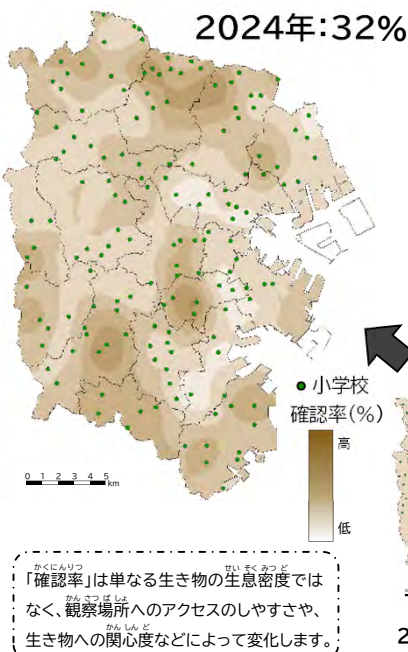
▲増えていると思われるダイサギ(写真左)とコサギ(写真右) (緑区)

白サギは白いサギをまとめた呼びかたで、横浜市内に最も多いのはコサギ、次にダイサギと考えられています。いずれも在来種で、魚などを食べますが、体の大きさに差があります。そのため、食べるエサの大きさや利用する環境にはちがいがあると考えられます。

白サギのなかまは、これまでに行った1987・1988年〜1991年の調査では、確認できた場所が少なくなっており、その原因として水田などのエサ場の減少と、営業できる山がなくなり、子どもが観察できるような場所に白サギが来なくなつたことなどが考えられます。しかし、2015年から今回にかけての結果では、確認率が高いことを示す、色のついた範囲が広がっており、白サギを見かける機会が増えているようでした。鳥類繁殖分布調査会の調査では、ダイサギは1970年代以降、全国的に分布を拡大しているものの、コサギは全国的に減っていることが分かってい

るようです。

また、NPO法人バードリサーチの調査では、コサギが東京都心部では分布が広がる傾向にあるといえます。原因はわかりませんが、大きな川では減つて、小さな川では変化がないか、または増えているとのことです。横浜でも川の水質改善などにより、白サギが増えた可能性があり、今後の変化に注目です。



また、NPO法人バードリサーチの調査では、コサギが東京都心部では分布が広がる傾向にあるといえます。原因はわかりませんが、大きな川では減つて、小さな川では変化がないか、または増えているとのことです。横浜でも川の水質改善などにより、白サギが増えた可能性があり、今後の変化に注目です。

### データが語る横浜の環境

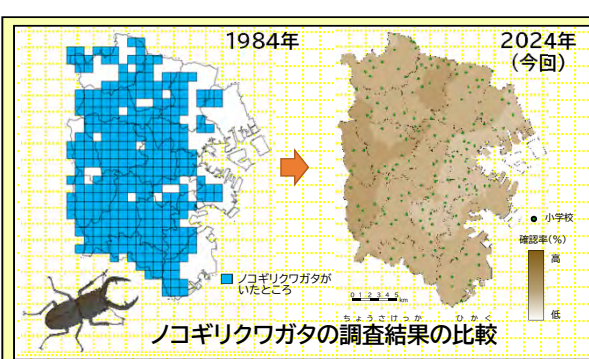
2024年度は 164校、10,188人が参加していただきました!

結果の詳細は、報告書として横浜市環境科学研究所Webページに掲載しています。

二次元コードからもアクセスできます

横浜市 こどもいきいき

検索



横浜市では1984・1991年にも、当時の小中学生、高校生を対象に、アンケートによる生き物調査を行いました。

1km四方あたりに1つでも確認情報があれば色を付ける示し方など、現在の調査とは異なる点もありませんが、当時の状況を知る貴重な資料であり、報告書で比較を行っています。

実は40年前にも...



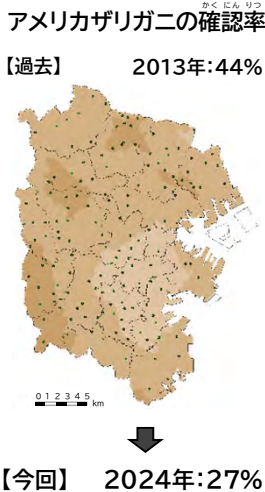
# 注目 ザリガニが減った!?

市内に生息するザリガニは外来種アメリカザリガニですが、市内全域の淡水域に生息しており、知名度も、人気も高い身近な生き物です。過去の調査では大岡川流域にあたる南区、港南区、磯子区などで、確認率がやや低い傾向が見られましたが、今回も大きな分布の変化はないようでした。一方で、市全体の確認率は過去は44%でしたが、今回は27%と大きく減少しました。

その要因の一つとして、アメリカザリガニは、2023年6月にアカミミガメと同時に条件付特定外来生物に指定され、教育現場においてザリガニを取り扱う機会が減少したことが考えられます。また、2023年、2024年の夏はいままでにない猛暑であり、真夏の日中にザリガニ釣り(捕り)に出かけるには厳しい日が続いたことも確認率の減少に影響した可能性があります。



▲アメリカザリガニは条件付特定外来生物に指定されています。



## 感謝状

貴校はこども「いきいき」生き物調査2024に参加され、横浜市の生き物生息情報の収集に尽力されました。よってここに深く感謝の意を表します。

- 鶴見区 市場小けやき分校、末吉、鶴見・寺尾・生  
 麦・馬場・大向(神奈川区) 青木・神奈川・神橋・神大寺・  
 斎藤分館 菅田の丘・中丸・西寺尾第二 羽沢・二谷(西区)・  
 東・浅間台・宮谷・みどり・本町・北方・本町・  
 元街・山元(南区) 石川・大岡・中村・日枝・南・六つ川・  
 六つ川(南区) 上大岡・港南第一・港南第二・港南第三・下  
 谷・下野庭・若谷谷・相武山・日野・丸山・吉原(富士  
 見台) 新井・岩崎・上管田の丘・上里川・瀬野台・富士  
 見台・白根・星川・峯(旭区) 上白根・川井・笹野台・さ  
 ちが丘・白根・星川・不動川・本宿・万騎が原・南本  
 宿・若葉台・左近(磯子区) 滝頭・浜・森東・洋光台第  
 二・洋光台第一(金沢区) 金沢・金沢中央・西宮岡・西  
 金沢学園(港北区) 並木第四・並木中央・西宮岡・文庫・西  
 二・高田東・網島東 日吉南・大尾・箕輪・矢上(緑  
 区) いざ野・竹山・十日市場・長津田第二・中山・新治・  
 東本郷・緑三保・森の森が丘学園(青葉区) 市ヶ尾・  
 美しが丘・美しが丘東・美しが丘西・在田南・川和東・思  
 田・桂・鴨志田緑・鉄・さつきが丘・在田西・新石川・  
 つつじが丘(都筑区) 牛久保・在田・在田南・川和東・中  
 川・山・山田・山田(戸塚区) 秋葉・つづきの丘・中  
 上・川上北・沢沢・境木・下郷・大正・戸塚・飯島・上矢部・川  
 塚・横浜深谷・飯田・南舞岡(大田区) 飯島・笠間・  
 塚・横濱深谷・飯田・南舞岡(大田区) 飯島・笠間・  
 泉・中和田・東中田(緑園学園(瀬谷区) 瀬谷・瀬谷とく  
 ち・二つ橋・南瀬谷(全一64校)

### いいきいきクイズ

葉っぱに隠れる鳥はどこだ!?

メジロ  
 大きさ:全長12cm  
 生息環境:林、市街地など  
 特徴:頭から背中側はうぐいす色で、目の周りが白い

横浜市にもいろいろな自然環境があり、たくさんの生き物が生息しています。さみは葉っぱに隠れている鳥を見つけれませんか?

答えはこのページの左下にあるよ!

## 2024年の調査結果

※数字(%)は市全体の確認率を示しています。

色の濃淡は、小学校ごとの確認率をもとに統計的に計算、作図したものです。一部のふ頭などは解析対象外としました。

- ツバメの巣 69%
- 白サギのなかま 32%
- ハグロトンボ 39%
- ノコギリクワガタ 44%
- 白いユリ 43%
- アメリカザリガニ 27%
- ウグイス(の鳴き声) 72%
- カタツムリ 62%
- ナナホシテントウ 80%

● 小学校ごとの確認率(%)

高 低

### いいきいきクイズ

正解はココ! みんなは分かったかな?

### 横浜市環境科学研究所

環境調査で未来につなぐ

生き物の調査や水、大気の実験など環境問題について調査研究や環境学習などを行っています。また、団体向けの施設見学も受け付けています。

詳しくはこちら

検索

### 横浜の生き物がよくわかる!

生き物を探すヒントがいっぱい!

「オタマジャクシの青いべ」で違いを見よう!  
 「セミの抜け殻」で何のセミかを調べよう!

無料ダウンロード

お買い求めは市政刊物・グッズ販売コーナー(横浜市庁舎3階)、ズーラシアのギフトショップで!

500円(税込)